

ママの味

えんちょう こうち たかし
園長 高地 敬

れいほう ふじ とお み かんどう うつく かたち きせつ
霊峰富士、遠くから見ても感動する美しさです。形もきれいだし、季節によ
って空の色とのコントラストが絶妙です。この「富士山」、名前の由来がはっき
りしていないようです。昔から「ふじさん」はいろんな漢字で表されてきま
した（アイヌ語が語源だとする宣教師の説もありました）。中には、「不二山」も
あります。これだとお菓子屋さんの名前になってしまいますが、私はこれが語源
ではないかと思っています。

ぺこちゃん、ぽこちゃんって、今でもあるのでしょうか。ミルキーってまだ売
ってますか？小さいころから「不二家」と聞くと、瞬間的にお菓子を連想し
てきたので、「不二」に何の違和感も覚えなかったのですが、「ふじさん」は、山
の様子を表してもいいし、これだけでは意味が分かりません。

「不二」は仏教の考え方です。「ほかにはない唯一まれなもの」という意味
もあるようですが、『「二ではない」、「二つのようで二つではない」一つだ』。こ
れが本来の意味だと思います。私たちは日頃から何に対しても良い、悪いを考
えます。「何でも良い、悪いの両面があるようで」、でもそうではない、あくま
でも一つだ。「物事を良い、悪いに分けてはいけないのだ」ということになりま
す。教会でも同じように考えるのですが、教会もお寺も「いい人になりまし
ょう」と教えていると受け止められています。

どんなにいい人になっても、自分にはよろしくない部分もあるとみんな知って
います。だから、「いい人になりましょう」は困るのです。私たちは、子どもも
大人も互いの良い部分とよろしくない部分を出し合って生きています。その上
で、お互いに迷惑をかけながら生きています。そう考えると、自分も人も、少
しは違って見えてくるでしょうか。